

## 児童の実態を踏まえ、指導案を立てましょう！

令和6年12月〇日 〇曜日 第〇時■ (〇〇室)

指導者 ○ ○ ○ ○

■ (1) 三つの資質・能力に合わせて、目標を示す。(知識及び技能、思考力・判断力・表現力  
(2) 等、学びに向かう力、人間性等の順) 学習指導要領に沿い、本単元の学習を通して身に  
(3) 付けさせたい力を、児童の立場で記述する。学びに向かう力、人間性等は「～しようとする」、他の観点は「～することができる」の表現を用いる。※計画案本文参照

| 段階          | 学 習 活 動  | 時間 | 指 導 上 の 留 意 事 項  |
|-------------|--|----|--|
| ○<br>○<br>○ | <p>1 ■○○○ 1 単位時間の流れに沿って<br/>■(1)■○○ 学習活動と学習内容を児童<br/>の立場で、簡潔に記述する。</p> <p>(2) 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>○ 本時の目標や主たる学習活動<br/>○ を踏まえ、児童に提示できる<br/>分かりやすい言葉で記述する。 ○</p> | 10 | <p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○<br/>■○○○○○○○。</p> <p>児童の学習活動を促すための指導者の<br/>手立て、発問・指示・板書・教材教具<br/>の活用等で配慮すること、予想される<br/>つまずきに対する支援を具体的に記述<br/>する。左側の学習活動とできるだけ位<br/>置を合わせて書く。</p> |



- 1 → 主な学習活動、学習内容
- (1) → 1 を受けた具体的な学習活動、学習内容
- → (1) をさらに具体化・細分化した学習内容
- ・ → 予想される児童の反応、より具体的な学習内容

評○○○○○○○○○○○○○○○○○○して  
いる。 (ワークシート)

- 30

(2) ○○○○○○○○○○。  
○ ○○○○○○

40

評○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○している。 （話し合い、発表）

- 3

o ○○○○○○○○○○○○○○○○。

## ■ (5) ■ 本時の評価規準

☒ ☒ o ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○している。( )

「本時の目標」を児童が達成したかどうかを見るために設定する。  
「～している」の表現を用いて、本時の目標を達成している児童の姿を具体的に記述する。  
( ) には、評価できるもの、ことを書く。机間指導等、指導者の活動は書かない。

「理解」など認知的な部分を評価する際、指導者が児童のどのような姿を捉えて、本時の目標を達成したと判断するのかを考え、できるだけ、目に見えたり、耳に聞こえたりした姿を書く。

例：「理解している」→「自分の言葉で説明している」

(1) 学級の実態

- ## (2) 指導の力点

- ○ 本時の目標を達成するために、本時のどの場面で、どのような方法で指導をするか、  
○ 指導者が特に力を入れて指導することを、現在形で記述する。  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

以下に示すもの等について、授業参観者からの意見や指導を踏まえ、授業後に自己評価を記述し、今後に生かす。 ※本時の目標、評価規準、手立て、発問、板書、ワークシート